

令和7年度 座間支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1. 法令遵守意識の向上（わいせつ事案等公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）【必須】	<ul style="list-style-type: none"> ・わいせつ事案等公務外非行の防止を徹底する。 ・円滑なコミュニケーションを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止職員啓発・点検資料の「コンプライアンス意識の醸成」を活用し、教育公務員としての高い倫理観の保持と法令遵守はもとより、社会的なルールや規範に則った行動が求められることを確認した。
2. 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須】	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人権を守り、ハラスメント行為の根絶を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で起こるハラスメントやその原因・背景について考え、チェックリストによるセルフチェックを行い、自分を客観的に見てみることの大切さを確認しあった。
3. 児童生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の人権を守り、適切な指導の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のわいせつ事案による懲戒処分の状況を確認し、児童・生徒に対する性的行為は「性暴力」であることを徹底周知した。
4. 体罰・不適切な指導の防止【必須】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態をおさえた、体罰によらない適切な指導を徹底する。 ・児童生徒の人権を尊重した指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような言動が体罰や不適切な指導に当たるかを実際の例で確認した。体罰や不適切な指導を目にした時も、黙認することなく、リーダーや同僚に必ず相談することを呼び掛けた。
5. 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	<ul style="list-style-type: none"> ・個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等を適切に管理する。また誤配付など事故防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に係る「誤配付・紛失・漏洩」の事例検討を行い、チェックリストによる注意喚起を行った。「教員は情報管理のプロであり、配付のプロである」ことを確認した。
6. 個人情報の管理、情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報関係における禁止事項と、「対策重要度」について改めて整理し、認識を深めた。子どもも教員自身も守るために情報セキュリティが重要であることを確認した。
7. 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運防止、交通法規の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・交通法規を遵守し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始を迎えるにあたって、特に飲酒運転の根絶を図った。チェックリストによるセルフチェックを行い、時間と心に余裕をもって安全運転に努めることを約しあった。
8. 私費会計に係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・現金での扱いを極力なくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私費会計業務において実際にあった間違いやすいポイントを確認した。事務処理の手順を再度確認し、適正な執行に努めた。
9. 人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・「外国籍県民等」をテーマにワークシートによる知見を深め合うとともに、外国につながるのがある生徒・家庭に対する必要な配慮を考えた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

毎月の職員会議に先立って、不祥事防止研修として上記の重点課題を取り上げ、各学部・分教室や校内分掌グループ・班がそれぞれを分担して不祥事ゼロプログラムを実施した。定例の研修に加えて、緊急に周知徹底すべき事案に関しては、朝の打ち合わせや掲示板等を活用し、速やかな伝達に努め、注意喚起を行っている。教職員ひとり一人が不祥事防止を自分事としてとらえ自身を律するとともに、また職場・同僚から不祥事を出さない、起こさないというチーム力を高められるよう今後も働きかけていきたい。